

三重の食について

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
フードイノベーション課	2014年10月17日から 2014年11月10日まで	1178	801	67%

三重県フードイノベーション課と健康づくり課、農産物安全課です。
 三重県産品に対する満足度、食育、食の安全・安心についてお聴きします。
 皆様からの回答結果については、みえの県民カビジョンや食育推進計画等の目標値として公表し、今後の取り組みに活用いたします。

■ Q1 地産地消について

地産地消についてお聴きします。
 地産地消という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。
 地産地消とは、地元産の農林水産物を地元で消費し、さらに地元の食文化等を通じて自分たちの生活や地域を見直すことを言います。

合計	801	
知っている	756	94.4%
知らない	40	5.0%
わからない	5	0.6%

■ Q2 三重県産食品の購入について

あなたは、食品を購入する場合に、三重県産の食品を意識して購入されていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	801	
意識して購入している	149	18.6%
どちらかといえば意識して購入している	374	46.7%
どちらともいえない	172	21.5%
意識して購入していない	106	13.2%

■ Q3 三重県産の生鮮物について

三重県産の生鮮物への満足度についてお聴きします。
 あなたは、三重県産の食品のうち生鮮物（青果物、魚介類、米、肉等）に対してどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	801	
満足している	240	30.0%
どちらかという満足している	374	46.7%
どちらでもない（気にしていない）	153	19.1%

どちらかといえば満足していない	30	3.7%
満足していない	4	0.5%

■ Q4 Q3でそう感じた理由

Q3で、そう感じた理由を3つまで選んでください。

合計	801	
味、鮮度、栄養などの品質	528	65.9%
量（世帯構成にあっているか）	45	5.6%
パッケージデザインや商品の説明のわかりやすさ	46	5.7%
地元産のものへの安心感	569	71.0%
料理への使いやすさ	30	3.7%
価格、またはお値打ち感	293	36.6%
入手しやすさ、種類など品揃え	250	31.2%
環境への配慮	60	7.5%
その他	34	4.2%

■ Q5 加工食品について

あなたは、三重県産の加工食品（三重県産の食材を利用した加工食品）に対してどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	801	
満足している	96	12.0%
どちらかという満足している	366	45.7%
どちらでもない（気にしていない）	300	37.5%
どちらかといえば満足していない	32	4.0%
満足していない	7	0.9%

■ Q6 Q5でそう感じた理由

Q5でそう感じた理由を3つまで選んでください。

合計	801	
味、鮮度、栄養などの品質	371	46.3%
量（世帯構成にあっているか）	34	4.2%
パッケージデザインや商品の説明のわかりやすさ	76	9.5%
地元のものへの安心感	469	58.6%

食べやすさ、料理への使いやすさ	98	12.2%
価格、またはお値打ち感	257	32.1%
入手しやすさ、種類など品揃え	261	32.6%
環境への配慮	37	4.6%
その他	54	6.7%

■ Q7 食生活の指針（自分に適した栄養バランスや量を示すもの）について

日々の食習慣に関してお聴きします。
 ふだん健全な食生活を実践するために、食生活上の何らかの指針等を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	801	
参考にしている	335	41.8%
参考にしていない	350	43.7%
わからない	116	14.5%

■ Q8 参考にしている指針について

Q7で「参考にしている」と答えた方にお聴きします。
 どのような指針等を参考にしていますか。3つまで選んでください。

合計	335	
食事バランスガイド	216	64.5%
食生活指針	62	18.5%
日本人の食事摂取基準	65	19.4%
6つの基礎食品	132	39.4%
3色分類	113	33.7%
その他	24	7.2%

■ Q9 メタボリックシンドロームについて

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防や改善のために、「適切な食事」「定期的な運動」「週に複数回の体重測定」のうち1つでも実践していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	801	
実践して、半年以上継続している	355	44.3%
実践しているが、半年未満である	35	4.4%
時々気をつけているが、継続的ではない	300	37.5%
現在していないが、近いうちにしようと思っている	51	6.4%
現在していないし、しようとも思わない	60	7.5%

■ Q10 家族との食事について

同居家族がいらっしゃる方にお聴きします。
家族と一緒に食事をする機会はどの程度ありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

※家族の人数は問いません。

※朝食および夕食の場合でお答えください。（1週間で総数14回になります。）

合計	759	
ほとんど毎日	491	64.7%
週に8~10回程度	73	9.6%
週に5~7回程度	57	7.5%
週に3~4回程度	53	7.0%
週に1~2回程度	55	7.2%
ほとんどない	30	4.0%

■ Q11 家族以外との食事について

すべての方にお聴きします。
家族以外の方（友人・知人・会合など）と一緒に食事をすることはありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

合計	801	
ほとんど毎日	22	2.7%
週4~5日	47	5.9%
週2~3日	43	5.4%
週1日	171	21.3%
ほとんどない	518	64.7%

■ Q12 食品の安全性について

食の安全・安心についてお聴きします。
あなたは、食品の安全性について、普段どう感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	801	
不安を感じていない	56	7.0%
どちらかといえば不安を感じていない	229	28.6%
どちらかといえば不安を感じている	383	47.8%
不安を感じている	124	15.5%
わからない	9	1.1%

■ Q13 Q12でそう感じる理由

Q12で「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」と答えた方にお聴きします。
それはどのような不安ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	507	
農薬や動物用医薬品（抗生物質など）の残留	346	68.2%
食品添加物の使用	364	71.8%
放射性物質の含有	205	40.4%
輸入食品の安全性	443	87.4%
表示の偽装（消費期限、原産地など）	308	60.7%
遺伝子組み換え作物の使用	193	38.1%
食中毒	86	17.0%
アレルギー物質の含有	60	11.8%
その他	18	3.6%

■ Q14 食の安全に関する意識について

あなたは、どのような時に食の安全について意識しますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

合計	801	
買い物や食事の時など日常的に意識している	394	49.2%
日常的には意識していないが時々意識する	227	28.3%
食の安全に関する問題が起こったときには意識する	164	20.5%
意識することはない	13	1.6%
わからない	3	0.4%

■ Q15 食の安全・安心のために行政に期待する取組について

現在、行政では、食品の安心を得るためにさまざまな取組を行っていますが、次の中で、あなたが期待する取組はどれですか。

あてはまるものをすべて選んでください。

合計	801	
食品の生産、加工、販売などを行う事業者に対する検査や指導を強化する	572	71.4%
残留農薬、食品添加物など食品の安全性に関する検査を強化する	581	72.5%
食品表示の適正化を推進する	501	62.5%
生産者、事業者が食の安全・安心の確保に自主的に取り組めるしくみ（みえの安心食材表示制度など）を推進する	338	42.2%
トレーサビリティ制度（生産流通の履歴を追跡できるしくみ）を推進する	313	39.1%

食の安全・安心に関する情報収集と適正な情報をわかりやすく提供する	302	37.7%
講座、研修会など食の安全・安心に関する教育を推進する	67	8.4%
消費者、事業者などによる相互理解のための交流を推進する	85	10.6%
消費者や事業者の疑問等に対応できる相談体制を充実する	105	13.1%
その他	23	2.9%
特にない	6	0.7%
わからない	9	1.1%

■ Q16 食の安全・安心確保のための行政の取組について

行政が、食の安全・安心確保のために取り組んでいる具体的な内容について、どの程度ご存じですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

※具体的な取り組み内容は、Q15の選択肢を参考にしてください。

合計	801	
取組の内容を知っている	41	5.1%
取り組んでいることは知っている	474	59.2%
知らない	286	35.7%